

GENESES OF PHOTOGRAPHY
IN JAPAN: HAKODATE

明治の函館



幕末の箱館

写真発祥地の原風景

幕末明治の

はこだて

2022.3.2(水) — 5.8(日)

東京都写真美術館3階展示室 恵比寿ガーデンプレイス内

開館時間 | 10:00-18:00 (木・金曜日は20:00まで) *入館は閉館の30分前まで

休館日 | 毎週月曜日(ただし3月21日、5月2日は開館)、3月22日 観覧料 | 一般700円 / 学生560円 / 中高生・65歳以上350円

小学生以下、都内在住・在学の中学生および障害者手帳をお持ちの方とその介護者(2名様まで)は無料。

*本展はオンラインによる日時指定予約を推奨いたします。

主催 | 東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館

事業は諸般の事情により変更することがございます。最新情報は当館ホームページでご確認ください。

TOP MUSEUM

GENESES OF PHOTOGRAPHY IN JAPAN: HAKODATE



1

写真発祥地の原風景 幕末明治のはこだて

写真発祥地をとらえた初期写真を核に幕末・明治の姿を再構築する連続展の第二弾として「写真発祥地の原風景 幕末明治のはこだて」を開催します。

写真発祥の地は、写真との関わりが永く、膨大な写真が堆積しています。本シリーズ展では特に初期写真に注目し、写真と資料から、近代へと推移する日本の輪郭を再構築する試みです。

約二五〇年前に江戸時代は終焉し、日本は近代国家へ歩みを進めました。北端の港湾都市であった箱館は、江戸時代後期に幕府の拠点が置かれ、蝦夷地経営や箱館戦争、開港といった歴史事象のなかで重要な役割を担うこととなります。一八六九（明治二）年に蝦夷地は北海道と命名され、箱館も函館に改称されました。

幕末期には、ロシア人より伝えられた技術を起点に写真文化が華開きます。最初の写真家である木津幸吉をはじめ、田本研造、武林盛一、井田倅吉などの在住する写真家と、野口源之助やライムント・フォン・シュティルフリートら来訪する写真家たちは函館の人や街、文化を撮影しました。田本研造は、その技術を池田種之助ら弟子たちに伝え、弟子たちは函館に限らず北海道各地にその跡を残し、現代にその姿を伝えています。

本展は、幕末から明治の激動の地「はこだて（箱館・函館）」を、新たな切り口で捉え直す試みといえるでしょう。



2



3



4



5



6

表面：ライムント・フォン・シュティルフリート《HAKODADI》明治5（1872）年 東京都写真美術館蔵 | 1.田本研造《（函館のパノラマ）》明治22（1889）年 東京都写真美術館蔵 | 2.浅野文輝《函館真景》明治15（1882）年 函館市中央図書館蔵 | 3.田本研造カ《フランス軍士官と旧幕府脱走軍士官》明治元（1868）年～明治2（1869）年 函館市中央図書館蔵 | 4.月岡芳年《諸国武者八景 函館港》明治4（1871）年 函館市中央図書館蔵 | 5.井田倅吉《ゴザを編むアイヌ女性》明治10（1877）年頃 函館市中央図書館蔵 | 6.《四切判野外用組立暗箱》20世紀前半、日本大学芸術学部蔵

会期中関連イベントを予定しております。
最新情報は当館ホームページをご確認ください。

東京都写真美術館
TOKYO PHOTOGRAPHIC ART MUSEUM

〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内
Tel: 03-3280-0099 www.topmuseum.jp



JR恵比寿駅東口より徒歩約7分、東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩約10分。
当館には駐車場はございません。近隣の有料駐車場をご利用ください。

GENESES OF PHOTOGRAPHY IN JAPAN: HAKODATE